

2024年3月29日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

ポジティブ・インパクト・ファイナンスによる資金調達について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）は、株式会社三菱UFJ銀行（以下「三菱UFJ銀行」）と、ESGの取り組みを支援するシンジケートローンによる「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」（以下「本ファイナンス」）の契約を締結し、本日資金実行されたことをご知らせします。

本ファイナンスは、国連環境計画・金融イニシアティブ^{*1}が策定したポジティブ・インパクト金融原則^{*2}および同実施ガイドラインに基づき、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的としてESGに対する取り組みを資金使途とした融資です。本ファイナンスのインパクト評価は、三菱UFJ銀行が三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社と共同で策定した「ポジティブ・インパクト・ファイナンスフレームワーク」に基づいています。フレームワークには評価にあたっての基準や体制などが規定されており、株式会社日本格付研究所より、ポジティブ・インパクト金融原則に適合している旨の第三者評価を受けています。SMFLが設定したESGに関する評価項目に対して、三菱UFJ銀行がインパクトの創出状況やネガティブ・インパクトの緩和・管理の状況、目標（KPI）の進捗状況について、ファイナンス期間にわたり年1回モニタリングを実施します。

SMFLは、経営理念・経営方針を示す「SMFL Way」のOur Vision（私たちの目指す姿）の一つに「SDGs経営で未来に選ばれる企業」を掲げています。「環境」「次世代」「コミュニティ」「働きがい」の4つのマテリアリティ（重点課題）を設定し、社会課題の解決に貢献するビジネスを推進しています。本ファイナンスによって得た資金を通じて、脱炭素・循環型社会の実現、次世代につながる人・企業の発展、地域社会の持続的な発展、誰もがより良い未来に向けて活躍できる機会の創出に貢献し、持続可能な社会の実現を目指して取り組んでいきます。

<シンジケートローン契約の概要>

金額	148億円
契約締結日	2024年3月26日
借入期間	3年 / 5年
アレンジャー	株式会社三菱UFJ銀行
貸付人	株式会社鹿児島銀行、株式会社京葉銀行、株式会社十六銀行、株式会社常陽銀行、株式会社大東銀行、株式会社北洋銀行、北海道信用農業協同組合連合会、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社山形銀行、他（五十音順）

※1 国連環境計画・金融イニシアティブ

1992年に設立された国連環境計画とおよそ200以上の世界各地の銀行・保険・証券会社などによるイニシアティブ。環境保護・社会の持続可能性に配慮した金融事業を推進することを目的に、調査、提言、情報交換などを行っている。

※2 ポジティブ・インパクト金融原則

SDGsの達成に向け、金融機関が積極的な投融資を行うための原則として、2017年1月に国連環境計画・金融イニシアティブにより策定されたもの。資金提供先企業のネガティブな影響を軽減し、現実的かつ信頼性のある方法でポジティブな影響を高めるための資金提供のあり方を定めており、「定義」「枠組み」「透明性」「評価」の4つの原則で構成されている。

以 上

【お問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社

広報 IR 部

山本

TEL 03-5219-6334